

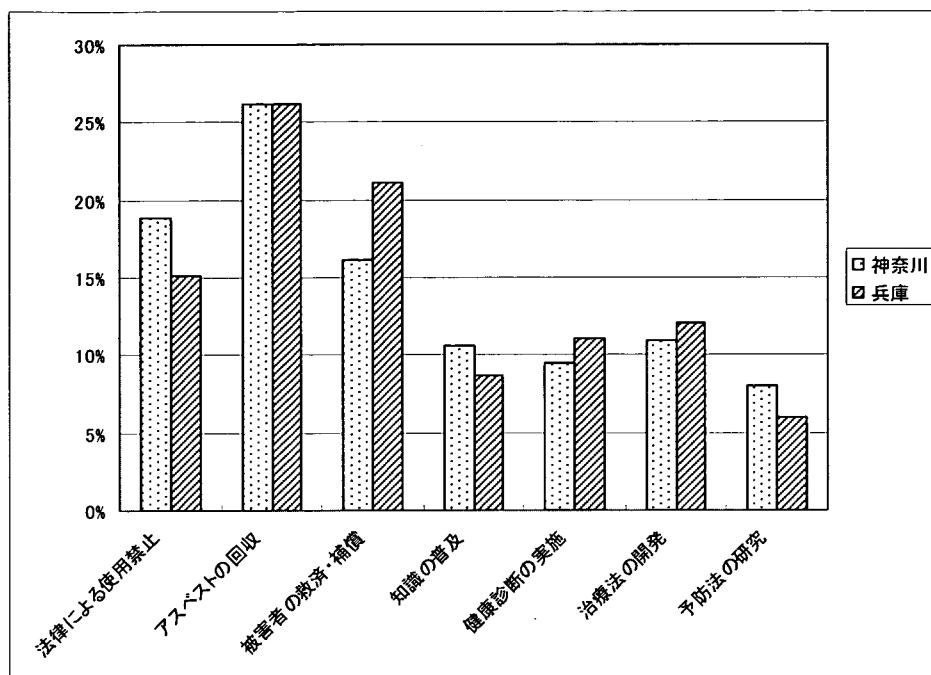
石綿による健康影響として、兵庫の学生にくらべて神奈川の学生は肺がん、がんの認識が低い。中皮腫についての認識は、社会人では高いものの、兵庫、神奈川ともに学生では1~2%ときわめて低い。

5. 「石綿」の問題で、何が大事だと思いますか？

下の中から大事だと思うものを3つ選んで記号で書いて下さい。

- A. 法律による使用禁止 B. 石綿の回収 C. 被害者の救済・補償
 D. 知識の普及 E. 健康診断の実施 F. 治療法の開発 G. 予防法の研究

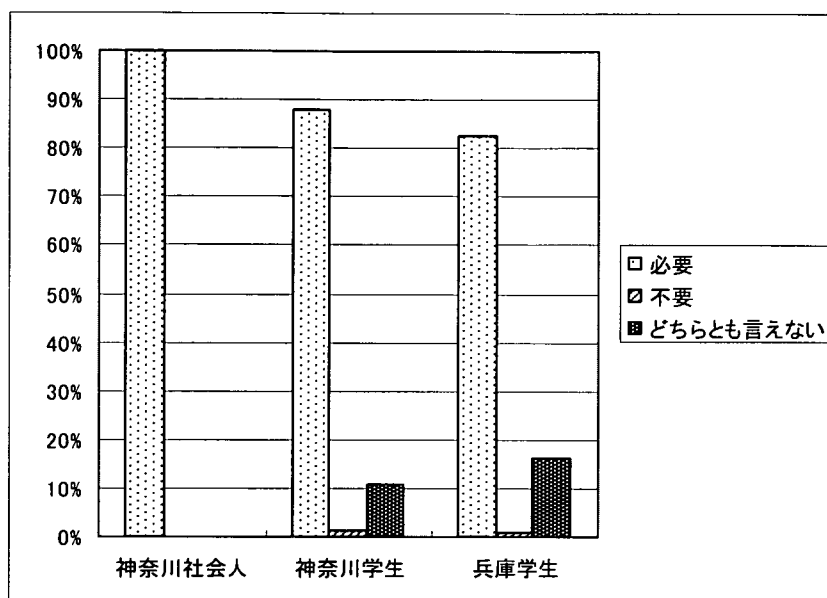
	神奈川	兵庫
法律による使用禁止	19%	15%
石綿の回収	26%	26%
被害者の救済・補償	16%	21%
知識の普及	11%	9%
健康診断の実施	9%	11%
治療法の開発	11%	12%
予防法の研究	8%	6%



神奈川、兵庫ともに「石綿の回収」が最も多く、神奈川では次いで「法律による使用禁止」、「被害者救済・補償」、「知識の普及」と「治療法の開発」、「健康診断の実施」、「予防法の研究」の順となり、兵庫では、「被害者救済・補償」、「法律による使用禁止」、「治療法の開発」、「健康診断の実施」、「知識の普及」、「予防法の研究」の順とわずかながら違いが見られる。兵庫の方が、被害者救済、治療、健康診断といった身近な項目が44%になっているが、神奈川では同じく36%で、8%の差がある。

6. 「石綿」について、もっと良く知っておくために情報が必要だと感じていますか？ どれかに○を付けてください： 必要 不要 どちらとも言えない

	神奈川社会人	神奈川学生	兵庫学生
必要	100%	88%	83%
不要	0%	1%	1%
どちらとも言えない	0%	11%	16%

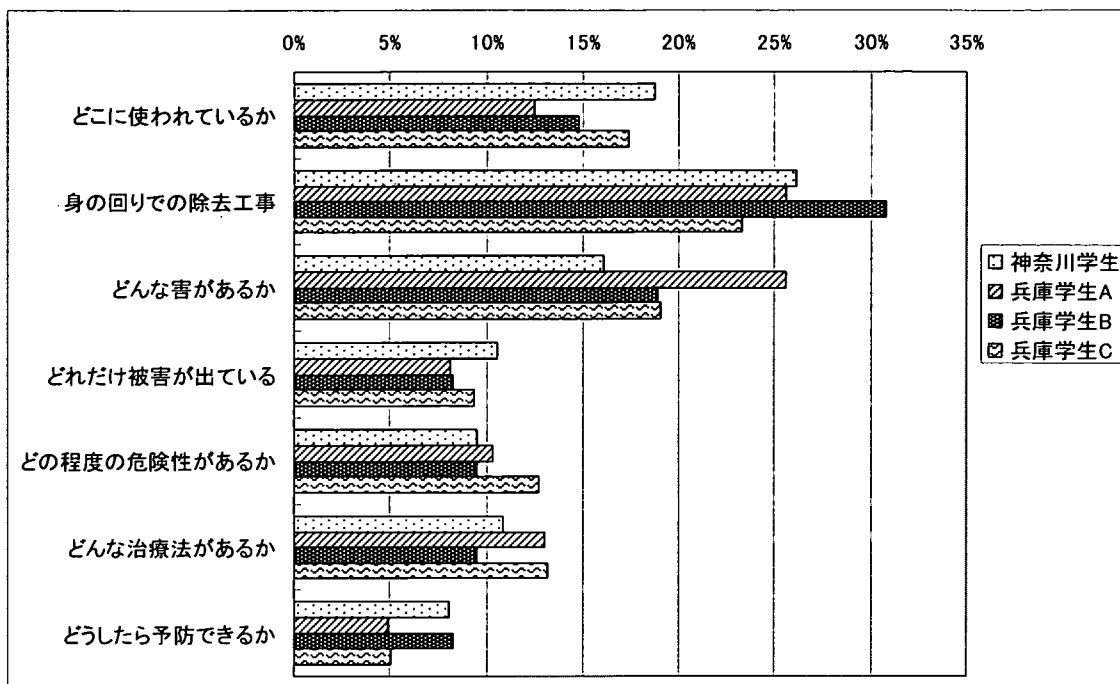


この問への回答では、社会人の全員、神奈川 88%、兵庫 83%が、石綿をもっと知るための情報が必要だとしている。

6. 2. 必要と思うものに○を付けてください (いくつ選んでも構いません)

- ・ どこに使われているかという情報
- ・ 身の回りでの除去工事の情報
- ・ どんな害があるかという情報
- ・ どれだけ被害が出ているかという情報
- ・ どの程度の危険性があるかという情報
- ・ どんな治療法があるかという情報
- ・ どうしたら予防できるかという情報

	神奈川学生	兵庫学生A	兵庫学生B	兵庫学生C
どこに使われているか	19%	13%	15%	17%
身の回りでの除去工事	26%	26%	31%	23%
どんな害があるか	16%	26%	19%	19%
どれだけ被害が出ている	11%	8%	8%	9%
どの程度の危険性があるか	9%	10%	9%	13%
どんな治療法があるか	11%	13%	9%	13%
どうしたら予防できるか	8%	5%	8%	5%



どのような情報が必要かという設問では、7つの項目から無制限に選択した結果、兵庫、神奈川および所属学科などに関わりなく、「身の回りでの除去工事」が順位で最も高く、次いで「どんな害があるか」、「どこに使われているか」の2項目が選ばれている。

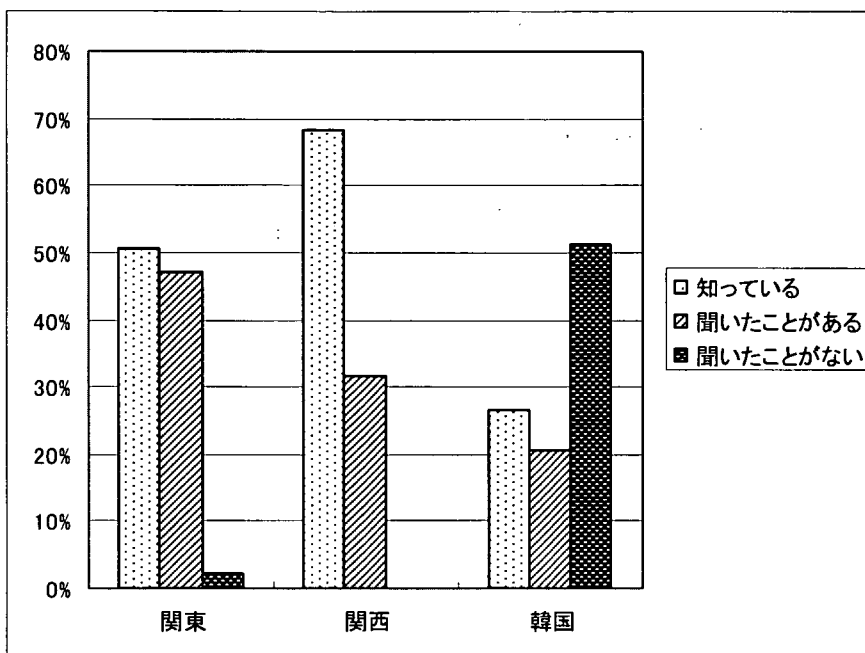
b) 韓国の大学生との比較

韓国での調査対象者を示す。

	所属	専攻	人数	
学生	漢陽女子大学	環境以外	保健行政	77
	高麗大学校		食品栄養	75
	東南保健大学		食品生命科学	50
	長安大学		視覚デザイン	33
	新興大学		放射線	59
	高麗大学校	環境専攻	環境保健科	30
	計			324
社会人	公務員		47	
	一般人		21	
	計		68	
回答者 総計			392	

1. 「アスベスト」または「石綿」のことを聞いたり、読んだりして知っていますか？

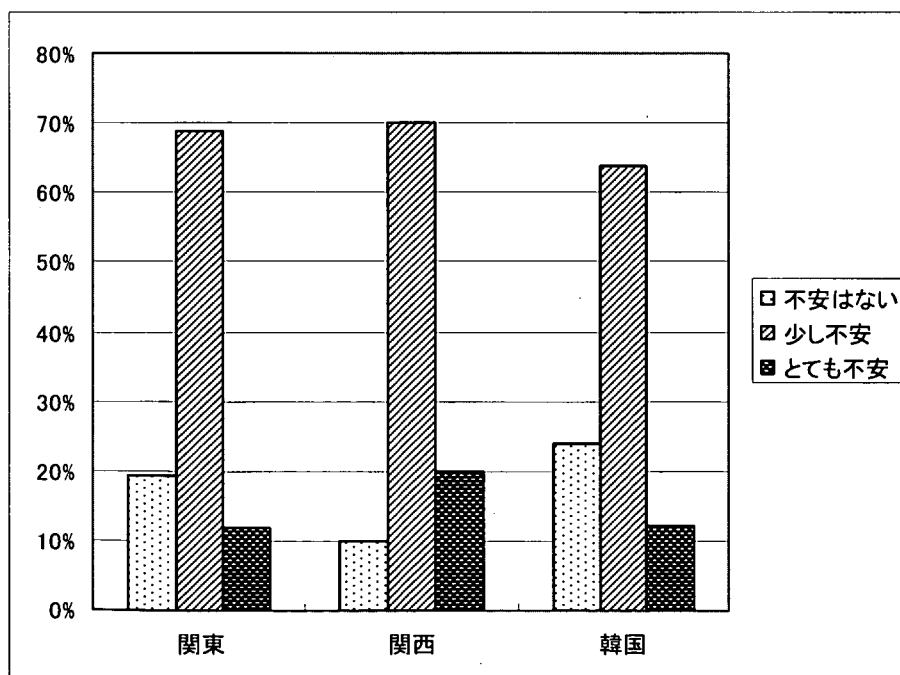
	関東	関西	韓国
知っている	51%	68%	27%
聞いたことがある	47%	32%	21%
聞いたことがない	2%	0%	51%



韓国では半数以上が聞いたことがないと回答し、石綿そのものの認識に日本と韓国の差がみられた。

3. 石綿に対して不安を感じますか？

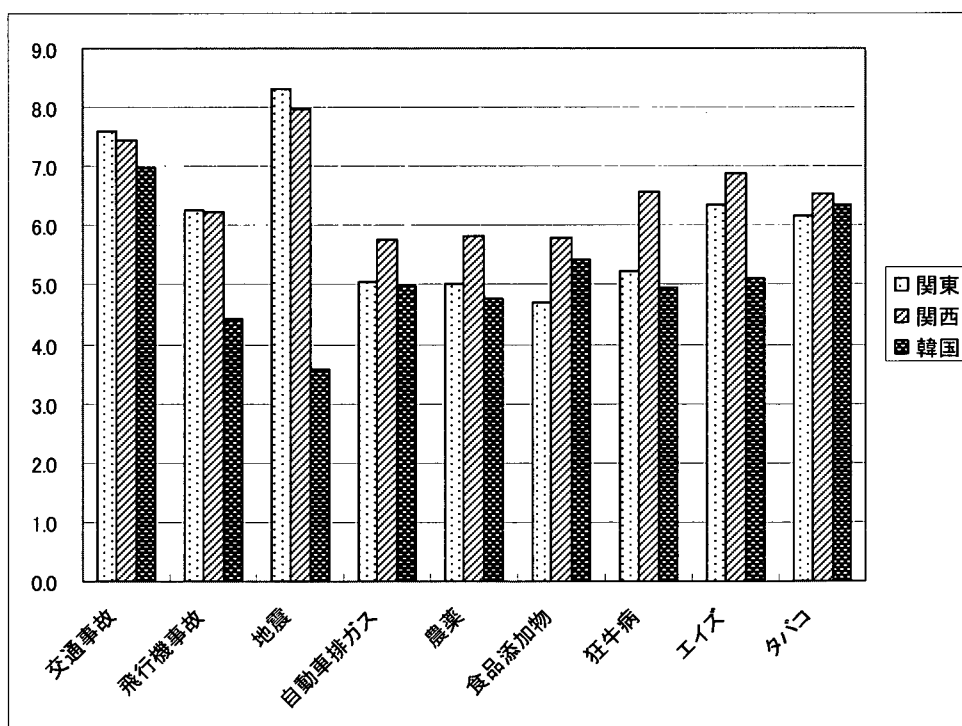
	関東	関西	韓国
不安はない	19%	10%	24%
少し不安	69%	70%	64%
とても不安	12%	20%	12%



これ以降の回答は、石綿を「知っている」あるいは「聞いたことがある」と回答した者への問いで、日本と韓国に大きな差はなく、「少し不安」が全体の約7割を占めている。「不安はない」との回答は、高いほうから、韓国、関東、関西の順となっている。

4. 2. あなたの感じている石綿に対する不安を基準にしたとき、以下の事故などは、どの程度危険と感じますか？

	関東	関西	韓国
交通事故	7.6	7.4	7.0
飛行機事故	6.3	6.2	4.4
地震	8.3	8.0	3.6
自動車排ガス	5.0	5.8	5.0
農薬	5.0	5.8	4.8
食品添加物	4.7	5.8	5.4
狂牛病	5.2	6.6	4.9
エイズ	6.4	6.9	5.1
タバコ	6.2	6.5	6.4



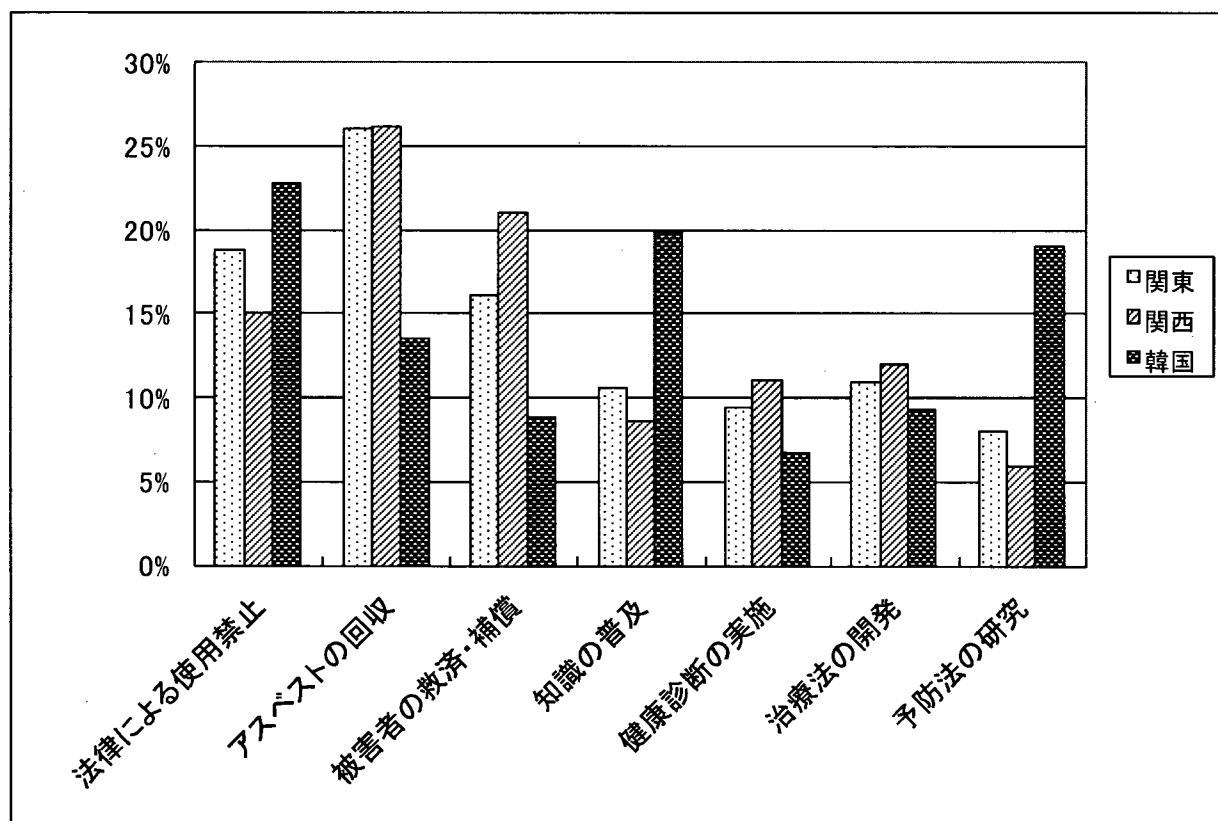
選択した評価の平均値で比較した。日本では地震に対して最も高い評価であるが、韓国では交通事故が最も高く、地震はこれらの中で最も低い。基準とした石綿よりも低いとしたものは、韓国で4つあるが、関東で1つ、関西では0となった。

これらの選択肢では、健康影響あるいは被害の違い、避けられるか否か、といった点が評価に反映す

ると予想できるが、交通事故、飛行機事故、地震以外では石綿と同程度あるいはやや上回る程度の評価であり、危険度を評価することが困難なのではないかとも考えられる。

5. 「石綿」の問題で大事なものは何か。

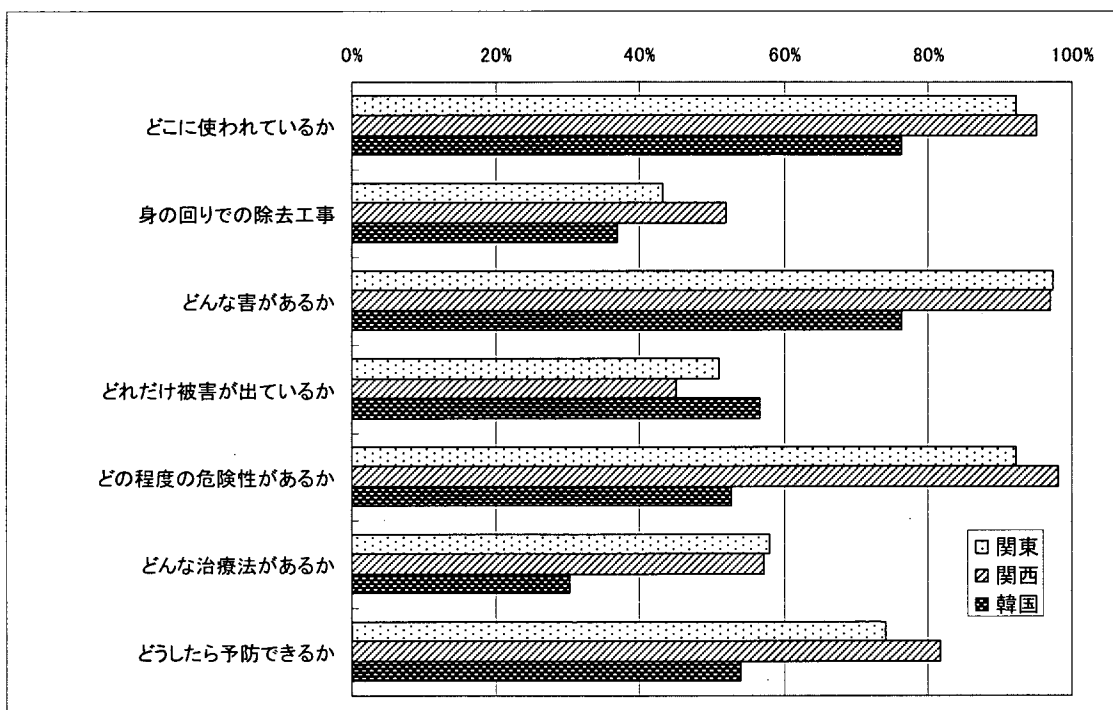
	関東	関西	韓国
法律による使用禁止	19%	15%	23%
石綿の回収	26%	26%	14%
被害者の救済・補償	16%	21%	9%
知識の普及	11%	9%	20%
健康診断の実施	9%	11%	7%
治療法の開発	11%	12%	9%
予防法の研究	8%	6%	19%



韓国では「法律による使用禁止」が最も多い回答で、次いで「知識の普及」、「予防法の研究」の順となっており、日本で「石綿の回収」が最も多く、予防が少なく、救済が多いのとは対照的である。

6.2. どのような情報が必要か

	関東	関西	韓国
どこに使われているか	92%	95%	76%
身の回りでの除去工事	43%	52%	37%
どんな害があるか	97%	97%	76%
どれだけ被害が出ているか	51%	45%	57%
どの程度の危険性があるか	92%	98%	53%
どんな治療法があるか	58%	57%	30%
どうしたら予防できるか	74%	82%	54%



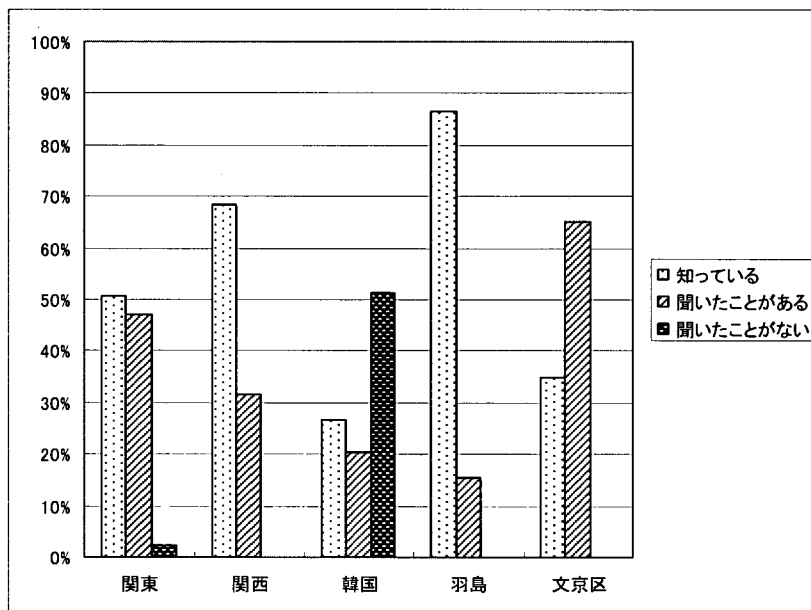
日本の回答では、「どこに使われているか」、「どんな害があるか」、「どの程度の危険性があるか」が90%を超えているが、韓国では最も高い「どこに使われているか」、「どんな害があるか」でともに76%であった。治療法や予防に関しても、日本で高く韓国で低い。前の問いで「予防法の研究」は関東、関西ともに低かったが、ここでは予防の情報を必要とする回答が約8割と高い。

c) 石綿曝露者および関係者との比較

1. 石綿について知っていますか？

	関東	関西	韓国	羽島	文京区
知っている	51%	68%	27%	87%	35%
聞いたことがある	47%	32%	21%	15%	65%
聞いたことがない	2%	0%	51%	0%	0%

*文京区では、「事故の前に石綿を知っていましたか」への回答

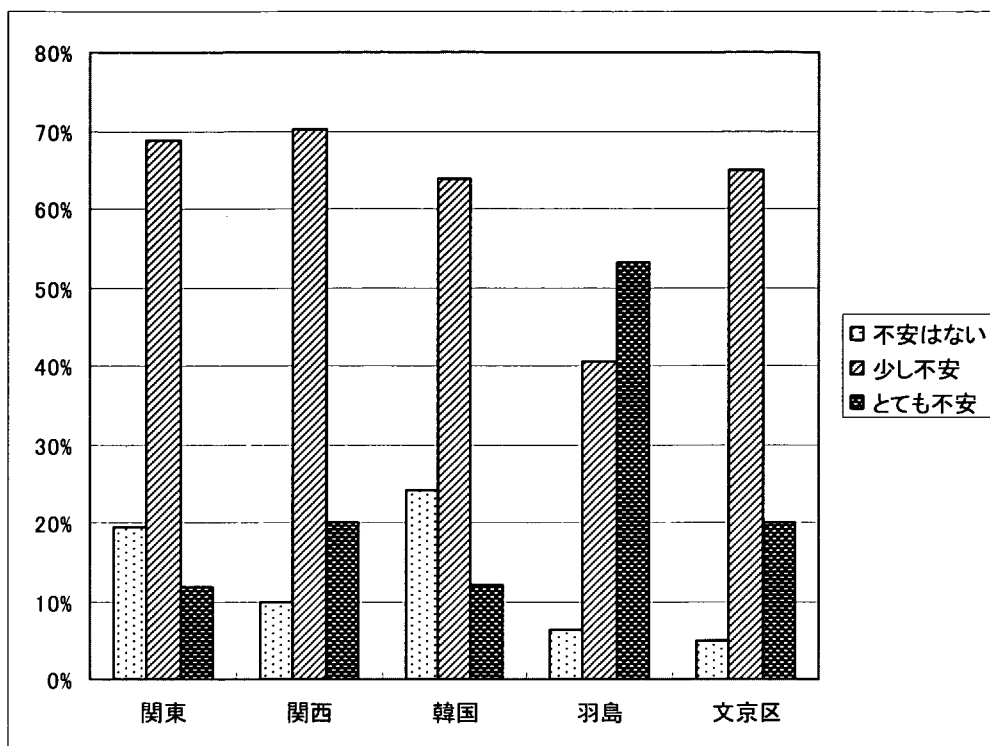


文京区保育園事故例の保護者では、事故をきっかけにして専門家による説明会などを通して詳しい知識が得られていることから、事故前は聞いたことがある程度であったと評価したと考えられる。

3. 石綿に対して不安を感じますか？

	関東	関西	韓国	羽島	文京区
不安はない	19%	10%	24%	6%	5%
少し不安	69%	70%	64%	41%	65%
とても不安	12%	20%	12%	53%	20%

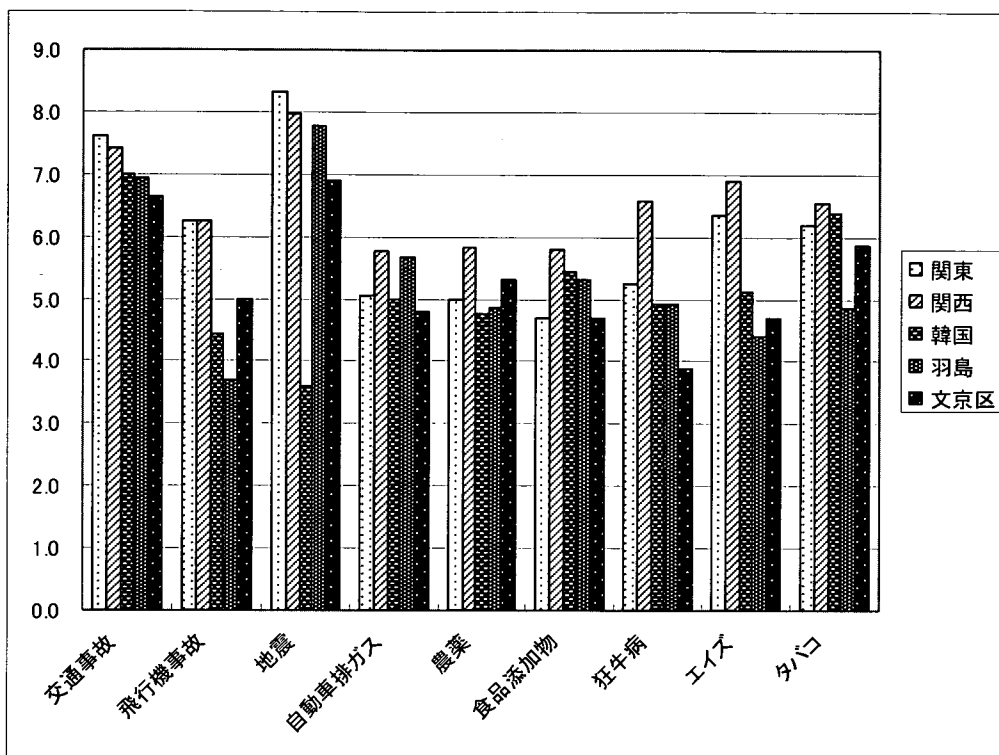
*文京区では、「一般環境の石綿に不安を感じますか」に対する回答



羽島では、「とても不安」が53%と各地域対象の中でもっとも高い。

4. 2. あなたの感じている石綿に対する不安を基準にしたとき、以下の事故などは、どの程度危険と感じますか？

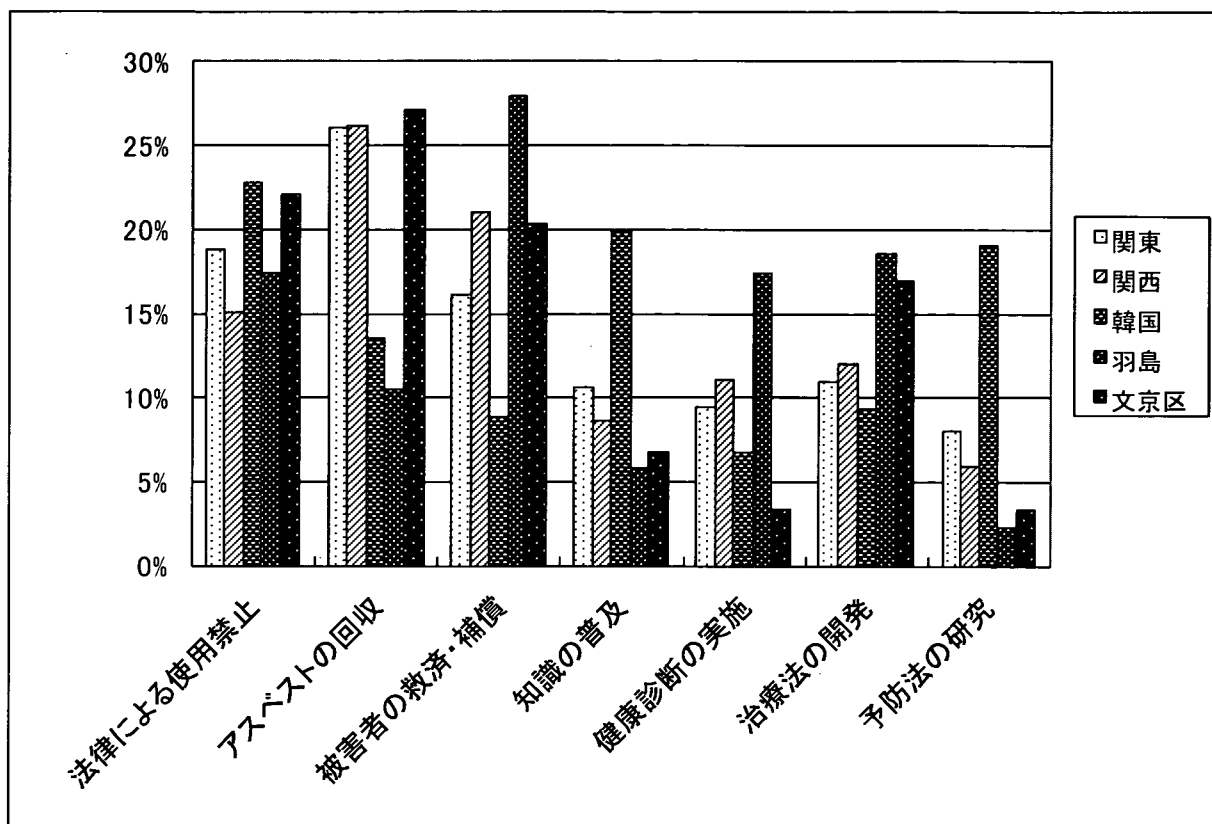
	関東	関西	韓国	羽島	文京区
交通事故	7.6	7.4	7.0	6.9	6.7
飛行機事故	6.3	6.2	4.4	3.7	5.0
地震	8.3	8.0	3.6	7.8	6.9
自動車排ガス	5.0	5.8	5.0	5.7	4.8
農薬	5.0	5.8	4.8	4.9	5.3
食品添加物	4.7	5.8	5.4	5.3	4.7
狂牛病	5.2	6.6	4.9	4.9	3.9
エイズ	6.4	6.9	5.1	4.4	4.7
タバコ	6.2	6.5	6.4	4.9	5.9



選択した危険度の平均で比較すると、基準とした石綿よりも低いものは韓国で4つ、羽島が5つ、文京区4つあるが、関東では1つ、関西では0であった。文京区では、タバコが危険度の高いほうから3番目となっている。これは喫煙が石綿による肺がんを相乗的に増やすことを健康影響に関する説明会や健康手帳で認識している影響と考えられる。

5. 「石綿」の問題で大事なものは何か。

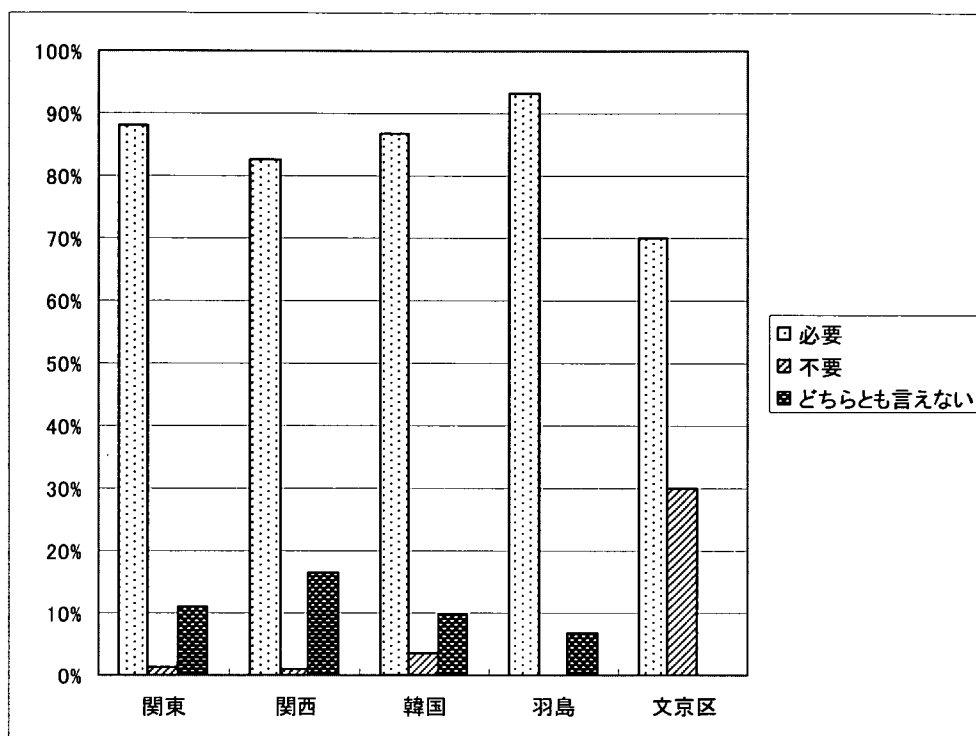
	関東	関西	韓国	羽島	文京区
法律による使用禁止	19%	15%	23%	17%	22%
石綿の回収	26%	26%	14%	10%	27%
被害者の救済・補償	16%	21%	9%	28%	20%
知識の普及	11%	9%	20%	6%	7%
健康診断の実施	9%	11%	7%	17%	3%
治療法の開発	11%	12%	9%	19%	17%
予防法の研究	8%	6%	19%	2%	3%



羽島では「被害者の救済・補償」が最も高く、治療や診断といった現実の健康被害を視野に入れた選択が多く、文京区では、これからの石綿曝露を減らすための回収や禁止が多く選ばれている。韓国以外では「予防法の研究」は最も少ない。

6. 石綿についてもっとよく知っておくために情報が必要だと感じていますか？

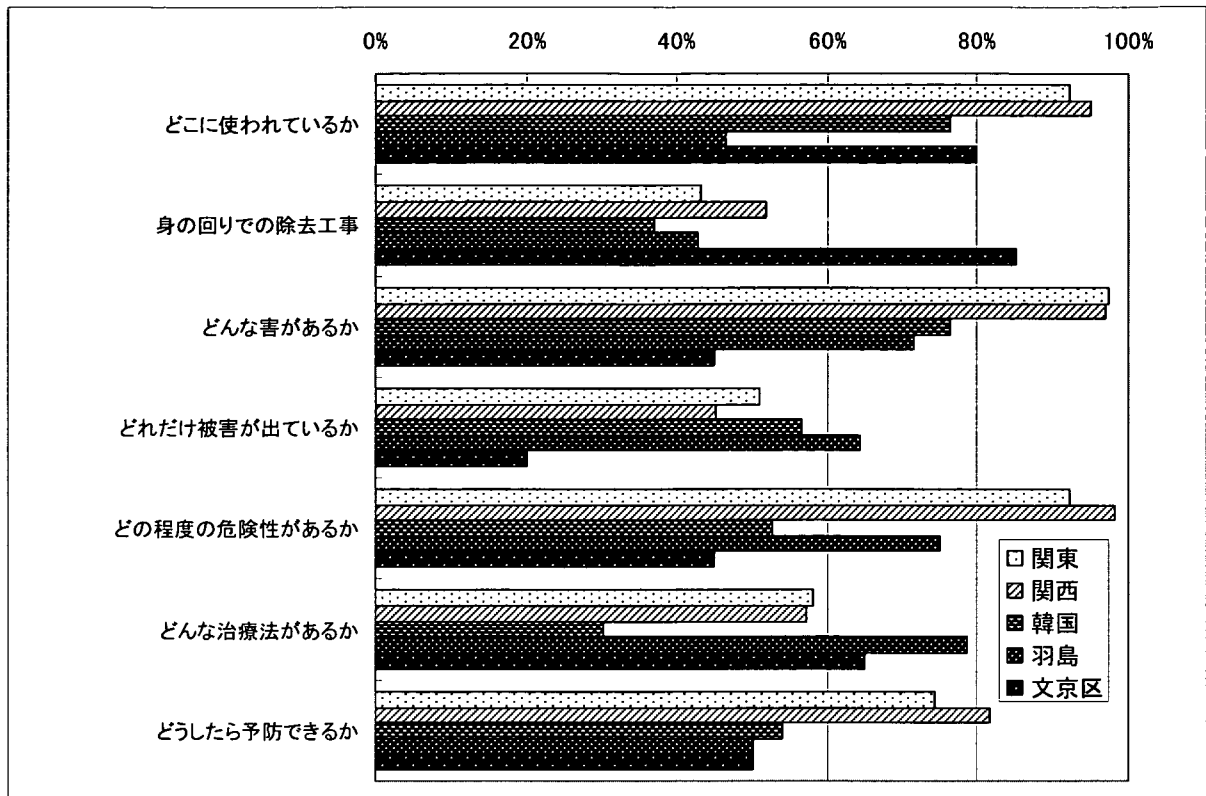
	関東	関西	韓国	羽島	文京区
必要	88%	83%	87%	93%	70%
不要	1%	1%	4%	0%	30%
どちらとも言えない	11%	16%	10%	7%	0%



文京区での「不要」とする回答の多いことが、ほかの集団と違っている。これは十分な情報を得ている結果、これ以上の情報はいらない、あるいは不足を感じていない結果であると考えられる。

6.2. どのような情報が必要か？

	関東	関西	韓国	羽島	文京区
どこに使われているか	92%	95%	76%	46%	80%
身の回りでの除去工事	43%	52%	37%	43%	85%
どんな害があるか	97%	97%	76%	71%	45%
どれだけ被害が出ているか	51%	45%	57%	64%	20%
どの程度の危険性があるか	92%	98%	53%	75%	45%
どんな治療法があるか	58%	57%	30%	79%	65%
どうしたら予防できるか	74%	82%	54%	50%	50%



羽島では、治療法に関する情報を最も求めているが、文京区では身の回りでの除去工事に関する情報の必要性に高い評価があり、石綿曝露被害者であっても、健康被害の発生が差し迫っている集団と、かなり先であると認識している集団での違いであると考えられる。文京区の場合には、この保護者の集団に対するリスク相談や心理相談（カウンセリング）が実施され、また、説明会や健康手帳、ニュースなど多くのリスクコミュニケーションが実施されたことが調査結果に影響している可能性が考えられる。

E 考察

(1) 離職者 137 人の胸部エックス線による胸膜プラーク有所見者は 57 人(41.6%)で、従事期間の開始時期が早いほど有所見率が高い傾向がみられた。

胸膜プラークや石綿肺は石綿ばく露の医学的所見として重要であり、かつ肺がん及び中皮腫のリスク要因でもある。これらの医学的所見を把握するためには胸部エックス線のみならず胸部CTが有用である。本邦ではこれまで離職者を対象にした成績は余りない。挙膜プラークの診断基準がない現状で、胸膜プラークの読影経験の乏しい読影者では、しばしば陳旧性肺結核による胸膜の石灰化所見や、非特異的な胸膜肥厚像を胸膜プラークとして読み誤る危険性が指摘されており、今後、石綿の健康影響調査を実施する際には、読影者の胸膜プラークの読影の研修が必要である。

(2) 某石綿工場の元従業員やその家族、出入り業者、周辺住民を対象として実施した健康診断の成績を検討した。元従業員については、昭和 50 年代の前半までに勤務歴がある者について健診を行っているので、石綿曝露濃度が高い時期に勤務していた者である。従って、胸膜プラークなども高率に認められていると思われる。B工場の元従業員の方が胸膜プラークの出現が低くなっているが、短期間のアルバイトの方々が比較的多く含まれている selection bias のためではないかと考える。

周辺住民については胸膜プラークがかなり、高率に認められている。B工場の場合とはとくに東側では工場と接する形で、住宅が多数あり、いわば工場の敷地の中に住宅があるというような状況である。このような地域において、高率に胸膜プラークが認められている。A工場の場合は工場の敷地も広く、工場の周囲には最近まで田畑も残っていた。しかし、以前は敷地内に社宅があって、倉庫などへの立ち入りも自由にできたようであり、社宅にいる友達のところへ毎日遊びに来て、石綿を用いた遊びをよくしたという人に高率に胸膜プラークが認められている。肺がんを合併した例も同様である。環境曝露といってもこのように直接石綿に接し、削ったり、折ったりして、曝露を受けたことが考えられる。また、健診を行っている中でA工場の近隣の会社事務所で働いていた人に高率に胸膜プラークが認められることもわかった。周辺住民だけでなく、近隣の事業所などで働いていた人についても健診を行う必要があると考える。

胸膜中皮腫については、石綿曝露量が少なく、胸膜プラークが認められない場合も多い。有用な腫瘍マーカーを健診時に測定することにより、画像的には所見が認められなくとも、値が高い場合には経過観察を継続して行うことにより、早期診断が可能になればよいと考える。

(3) 地域、年齢、文化、石綿との関わり異なる集団を対象に、石綿のリスクコミュニケーションに関するアンケート調査を実施した。

1) アスベストが身近な問題でないと考えられる学生での比較で、関東と関西で大きな違いはみられないが、危険度の認識や情報は関西で高い傾向があり、マスコミ等による情報量の違いが反映している可能性が考えられる。

2) 日本の学生は関東、関西に関係なく、ほとんどがアスベストを「知っている」、「聞いたことがある」と回答したが、韓国の学生の半数は「知らない」と回答した。

3) 「羽島」では、アスベストへの不安が大きい。地震に対するリスク認識は日本と韓国で大きく違うものの、アスベストを上回る項目が少ない傾向は共通している。

4) アスベスト問題で必要だと判断した項目は、「羽島」で被害者救済や診断治療が高く、回収などを含めて日本では現実的な対応を上げているが、韓国との対比では知識の普及や予防法の研究などで対照的である。

5) さらに必要であると判断した知識としては、日韓の学生ともに、どのような害があるかという基本的な情報を上位で選んだが、羽島では治療法を、文京区では除去工事に関する情報を上位で選んだ。

石綿曝露による健康被害のリスクコミュニケーションは、一般の集団においては従来指摘されているこ

とではあるがマスコミ等による受身の情報がリスク認識のソースであり、情報の量によってリスクの有無が判断される可能性がある。一方、一般大気環境濃度を超えたアスベスト曝露集団に対するリスクコミュニケーションは、曝露後の迅速かつ正確な情報提供、不安に対する心理相談、継続的なコミュニケーションなどが必要であり、対象となる個人、集団のリスク認識に基づいて構築されることが重要であると考えられた。

F 結論

胸膜プラークや石綿肺は石綿ばく露の医学的所見として特異的であり、かつ中皮腫及び肺がんのリスク要因である。但し、これらの医学的所見を把握するためには胸部エックス線のみならず胸部CTが有用であるが、本邦では報告が少ない。またこれまで離職者を対象にした成績は余りない。今回は経験豊かな複数の読影者が行った結果、胸部単純レントゲン検査だけで退職労働者 137 人中 57 人 (41.6%) に胸膜プラークを認めた。

別の石綿工場離職者 538 人、家族 84 人、出入り業者 33 人、周辺住民 234 人を対象とした調査では、胸膜プラークの有所見率は、離職者 66.4%、家族 40.5%、出入り業者 60.6%、周辺住民 18.8%であった。石綿肺（1型以上）は離職者の 4.8%認められた。周辺住民には肺がんが1人に発見された。石綿工場の近くに居住していたが、他方、この石綿工場の敷地内の社宅に友人がすんでいたこともあり、良く遊びに行き、石綿製品等を削ったりした石綿曝露歴があった。また周辺住民1人に肺線維症の所見を有する者が見つかったが、鉄道会社の勤務歴（鉄道で運ばれる石綿原料の運搬での曝露の可能性）や趣味に陶芸（窯の断熱材の修理等の石綿曝露の可能性）があり、一通りの問診だけでは石綿曝露歴をどの程度正確に把握できるか、困難な事例もある。

石綿のリスクコミュニケーションのあり方を検討するために、関西、関東及び韓国の大学生及び石綿曝露関係者を対象に石綿に対するリスク認識を把握するためのアンケート調査を実施した。クボタから遠い関東の女子大生の方が、また韓国の方が石綿の危険度や認識が低く、マスコミの情報量の違いが反映しているものと推測された。石綿に直接関与した当事者では、治療法や除去工事に関する情報等、具体的な課題が大事であると捉えていた。石綿に関するリスクコミュニケーションの調査については、端緒にすぎたばかりであり、今後、この方面の研究と対策を充実させる必要がある。

リスクコミュニケーションに関する研究は米国で先行していることから、代表的な論文を翻訳し、末尾に参考資料として掲載した。

1. 「アスベスト」または「石棉」のことを聞いたり、読んだりして知っていますか？
 どれかに○を付けてください： 知っている 聞いたことがある 聞いたことがない

1.2. 知ったのは、去年の7月より後ですか、それとも前ですか？
 去年7月より後 去年7月より前 (いつ頃ですか：____頃)

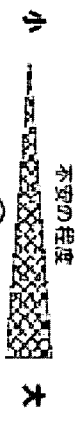
1.3. 何から知ったか、どれかに○を付けてください。
 新聞・雑誌 テレビ・ラジオ パソコン 携帯電話 知人・友人・家族 その他

2. あなたの身の回りにアスベストがあるでしょうか？
 どれかに○を付けてください： 身の回りにはないとする あると思う 見たことがある

2.2. 「アスベスト」があると思う場所や使われていると思う物があつたら書いてください。
 []

3. 「アスベスト」に対して不安を感じますか？
 どれかに○を付けてください： 不安はない 少し不安 とても不安

3.2. あなたの感じているアスベストに対する不安を基調にしたとき、以下の事象などは、どの程度の危険と感じますか？ アスベストの州の上引に○で示してください。



- 不安の程度
- アスベスト : []
 - 交通事故 : []
 - 飛行機事故 : []
 - 火災 : []
 - 日陰車排ガス : []
 - 喫煙 : []
 - 食品添加物 : []
 - 狂牛病(BSE) : []
 - エイズ : []
 - がん : []

4. 「アスベスト」は、私たちの体に入ってから、どの様な害があると思いますか？
 思いつくものを書いてください []

5. 「アスベスト」の問題で、何が大事だと思いますか？
 下の中から大事だと思うものを3つ選んで記号で書いて下さい： [] [] []

- A 法律による使用禁止 B アスベストの回収 C 被害者の救済・補償
- D 知識の普及 E 健康診断の実施 F 治療法の開発 G 予防法の研究

6. 「アスベスト」について、もっと良く知っておくために情報が必要だと感じていますか？
 どれかに○を付けてください： 必要 不要 どちらとも思えない

6.2. 必要と思うものに○を付けてください(いくつ選んでも構いません)

- ・ どこに控われているかという情報
- ・ 身の回りでの除染工事の情報
- ・ どんな害があるかという情報
- ・ どれだけ被害が出ているかという情報
- ・ どの程度の危険性があるかという情報
- ・ どんな治療法があるかという情報
- ・ どうしたら予防できるかという情報

7. 最後の質問です。

7.1. あなたの年齢に該当するものを○で囲んでください。
 ~19 20~29 30~39 40~49 50~59 60~69 70~79 80~ (歳)

7.2. あなたの喫煙歴を教えてください。該当するものを○で囲んでください。
 吸ったことがない 現在吸っている 過去に吸っていたことがある

ご協力ありがとうございました。

G 研究発表

1. 論文発表

森永謙二：石綿の人体への影響. 空気清浄 43 (5):17-21 (2006)

Morinaga K, et al: Survey on the mortality of malignant tumors in female workers exposed to chrysotile asbestos. Int J Epidemiol Infect Dis 33:12-4

森永謙二：悪性中皮腫の疫学. 内科 97(5):895-900 (2006)

森永謙二:アスベスト曝露者に対する健康診断. 総合臨床 55(5):1435-1439 (2006)

森永謙二：石綿の健康障害－職場から近隣にまで広がる影響. 医学のあゆみ 217(3):286-7 (2006)

森永謙二:アスベスト曝露者に対する健康診断. 総合臨床 55(5):1435-1439 (2006)

森永謙二：アスベストの曝露. クリニシャン 53(550):569-572 (2006)

森永謙二:中皮腫トピックス 疫学. 日本胸部臨床 65:587-593 (2006)

篠原也寸志, 森永謙二：アスベストの特性、用途、ばく露の機会と健康障害. クリーンテクノロジー 16(9):22-28 (2006)

森永謙二：石綿の健康影響. 労働衛生工学 44/45:72-79(2006)

森永謙二：いま、なぜアスベスト問題なのか. アスベスト汚染と健康被害(森永謙二編著)第2版、pp1-11、日本評論社、東京 (2006)

森永謙二, 篠原也寸志：アスベストの職業ばく露と環境ばく露. アスベスト汚染と健康被害(森永謙二編著)第2版、pp47-74、日本評論社、東京 (2006)

森永謙二:石綿による健康障害. 産業医の職務Q&A 第8版、pp326-330、産業医学振興財団、東京 (2006)

東山聖彦, 森永謙二：全国アンケート調査による本邦の悪性胸膜中皮腫に対する外科治療成績. 胸部外科 60:19-24 (2007)

森永謙二：石綿関連疾患の最新診断法と今後の展開. 安全と健康 8(3):22-26 (2007)

森永謙二：粉じん・アスベスト等の鉱物繊維による障害とその予防. 改訂第2版. 産業医学

実践講座(日本産業衛生学会近畿地方会編集), pp187-200, 南山堂, 大阪 (2007)

森永謙二：石綿関連疾患-予防・診断・労災補償(第四版). 森永謙二編、産業医学振興財団、東京、pp29-38, 39-41, 52-53, 62-65, (2007)

篠原也寸志, 森永謙二：アスベストによる労働災害とその対策. セイフティエンジニアリング 145:13-18 (2007)

森永謙二:悪性中皮腫の疫学. 呼吸器科 12(4):283-288 (2007)

東山聖彦, 森永謙二, 他：悪性胸膜中皮腫に対する外科手術成績からみた治療戦略. MOOK 肺がんの臨床 2007~2008、pp293-306、篠原出版新社、東京 (2007)

森永謙二：第1章 石綿(アスベスト)の疫学. アスベストと中皮腫、pp1-36、篠原出版新社、東京(2007)

三浦溥太郎：アスベストは呼吸器疾患に関与する. 分子呼吸器病 10(4):265-269 (2006)

石渡仁深, 三浦溥太郎, 他：横須賀共済病院における生体試料からのアスベスト小体およびアスベスト繊維の光学顕微鏡下算定について. 医療と検査機器・試薬 29(3):181-194 (2006)

三浦溥太郎：中皮腫の病態生理, 検査, 診断・治療法. 月刊ナーシング 26(6):106-114 (2006)

林達也, 三浦溥太郎, 他：Mycobacterium avium による膿胸の1例. 日呼吸会誌 44(2):117-121 (2006)

三浦溥太郎：中皮腫 (2)臨床. 石綿関連疾患-予防・診断・労災補償-, 第4版, 森永謙二編. 東京, 産業医学振興財団: 65-802 (2006)

三浦溥太郎：その他の石綿関連疾患 (1)びまん性胸膜肥厚. 石綿関連疾患-予防・診断・労災補償-, 第4版, 森永謙二編. 東京, 産業医学振興財団, pp104-111 (2006)

三浦溥太郎：胸膜プラーク (1)臨床・病理. 石綿関連疾患-予防・診断・労災補償-,

- 第4版, 森永謙二編. 東京, 産業医学振興財団, pp121-124 (2006)
- 三浦溥太郎 (2006). 中皮腫の診断と治療. アスベスト汚染と健康被害. 森永謙二. 東京, 日本評論社, pp75-98 (2006)
- 三浦溥太郎: 職業性曝露でのアスベストの健康影響. 平成18年(2006)アスベストの基礎知識と指導マニュアル. 東京都, 東京都福祉保健局, pp19-41 (2006)
- 福地義之助, 三浦溥太郎, 他: "アスベスト曝露とじん肺, 中皮腫." 呼吸器 NEWS & VIEWS 28(Summer): 18-24 (2006)
- 三浦溥太郎: [基礎から臨床へつなぐ 悪性胸膜中皮腫へのアプローチ]アスベストは呼吸器疾患に関与する. 分子呼吸器病 10(4):265-269 (2006)
- 三浦溥太郎. Nursing Lecture 中皮腫の病態生理検査, 診断・治療法. ナーシング 26(6):106-114 (2006.6)
- 三浦溥太郎. 中皮腫の診断と治療. アスベスト汚染と健康被害第2版 森永謙二編, pp75-98 日本評論社, 東京 (2006)
- 三浦溥太郎. アスベストは呼吸器疾患に関与する. 分子呼吸器病(2006) 10(4):265-269
- 三浦溥太郎. アスベスト肺癌の臨床. 最新医学 62:70-75 (2007)
- 稲瀬直彦, 三浦溥太郎. 気胸で発症した胸膜中皮腫の検討. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌 7:9-12 (2007)
- 三浦溥太郎: 第3章3. 中皮腫, 4. アスベスト関連の胸膜疾患. アスベストと中皮腫. 亀井敏昭, 石川雄一, 三浦溥太郎, 井内康輝, 森永謙二編, pp88-111, 篠原出版新社, (2007)
- 三浦溥太郎. 珪肺症. 呼吸器専門医テキスト(工藤翔二, 他編), pp515-519, 南江堂, 東京 (2007)
- 三浦溥太郎. 胸膜腫瘍. 呼吸器専門医テキスト(工藤翔二, 他編), pp660-663, 南江堂, 東京 (2007)
- 三浦溥太郎. 石綿肺. 別冊・医学のあゆみ 呼吸器疾患 state of arts Ver.5(北村論, 他編), pp312-314, 医歯薬出版, 東京 (2007)
- 審良正則: 石綿関連疾患-予防・診断・労災補償 (第四版). 森永謙二編, 産業医学振興財団, 東京, pp41-49, 53-59, 81-89, 124-130 (2006)
- 審良正則: びまん性病変-鑑別への道筋一. 診断と治療 94;4:605-609 (2006)
- 審良正則: アスベスト関連肺疾患の画像診断. 日本胸部臨床 65:414-424 (2006)
- 審良正則: 中皮腫トピック-中皮腫の画像. 日本胸部臨床 65:633-639 (2006)
- Akira M: Other uncommon pneumoconiosis: In: Imaging of occupational and environmental disorders of the chest. Gevenois PA, De Vuyst P (eds). Springer Verlag, Heidelberg pp263-279 (2006)
- Souza CA, Akira M, et al Drug-induced eosinophilic pneumonia: high-resolution CT findings in 14 patients. Am J Radiology 186:368-373 (2006)
- 審良正則: [座談会] 日常臨床で遭遇する原因の明らかな間質性肺炎を理解する. 治療学 40:1239-1250 (2006)
- Akira M, Morinaga K, et al: Inhalational talc pneumoconiosis: Radiographic and CT findings in 14 patients. Am J Radiol 188:326-333 (2007)
- 審良正則, 鈴木克洋, 喜久山綾乃: 肺の画像診断-肺結核との鑑別を中心に- 1. 肺結核の典型像, 非典型像. 日本医事新報 (4353): 53-56 (2007)
- 審良正則: 中皮腫の画像診断. 呼吸器科 12(4):312-317 (2007)
- 審良正則, 鈴木克洋, 喜久山綾乃: 肺の画像診断-肺結核との鑑別を中心に- 3. 肺炎の画像所見. 日本医事新報 (4367): 69-72 (2008)
- 審良正則: 石綿関連非腫瘍性疾患の画像診断. アスベストと中皮腫. 亀井敏昭, 石川雄一, 三浦溥太郎, 井内康輝, 森永謙二編. 篠原出版新社, p.113-123 (2007)
- Arai T, Akira M, et al Intractable desquamative interstitial pneumonia in a tattooed man. Intern Med 45:1055-1058 (2006)

- Akira M: Imaging of occupational and environmental lung diseases. Clin Chest Med 29: 117-131 (2008)
- 審良正則, 鈴木克洋, 喜久山綾乃: 肺の画像診断—肺結核との鑑別を中心に— 5. 肺がんの画像所見. 日本医事新報 (2008年3月掲載予定)
- 高田礼子, 神山宣彦. 繊維状微粒子の有害性評価法. バイオマテリアル—生体材料— 24(5):345-352 (2006)
- 高田礼子. アスベストによる中皮腫発がんの分子機構. 医学のあゆみ 219:817-820 (2006)
- Takaya M, Takata A, et al: Dissolution of Functional Materials and Rare Earth Oxides into Pseudo Alveolar Fluid. Ind Health 44(4):639-44 (2006)
- 高田礼子, 森永謙二: 石綿による健康障害と石綿代替品の生体影響. マテリアルインテグレーション 19(4):20-29 (2006)
- 高田礼子: アスベスト代替品は生体にどんな影響を与えるか. アスベスト汚染と健康被害第2版 森永謙二編、pp155-178 日本評論社、東京 (2006)
- 高田礼子: アスベストおよびアスベスト代替品による中皮腫発生—動物発がん実験モデルの展望—. 最新医学 62(1): 21-26 (2007)
- 高田礼子: アスベストの無害化に向けて—無害化処理の現状—. 安全衛生コンサルタント、27(83): 34-38 (2007).
- 高田礼子: アスベストばく露による中皮腫の発生. 胸膜中皮腫診療ハンドブック. 独立行政法人労働者健康福祉機構監修、岸本卓巳編、中外医学社、東京、pp2-11 (2007)
- 高田礼子: アスベスト代替繊維と生体影響. アスベストと中皮腫. 亀井敏昭、三浦溥太郎、森永謙二、他編、篠原出版新社、東京、pp67-73 (2007).
- 安達修一: アスベストのリスクアセスメント. アスベスト汚染と健康被害第2版 森永謙二編、pp179-192, 日本評論社、東京 (2006)
- 安達修一: アスベストのリスクアセスメント. 平成18年(2006) アスベストの基礎知識と指導マニュアル. 東京都、東京都福祉保健局:52-66 (2006)
- Nagy E, Adachi S, et al: DNA damage and acute toxicity caused by the urban air pollutant 3-nitrobenzanthrone in rats; Characterization of DNA adducts in eight different tissues and organs with synthesized standards. Environ Mol Mutag 47:541-552 (2006)
- E. Nagy, Adachi S, et.al: DNA adduct formation and oxidative stress from the carcinogenic urban air pollutant 3-nitrobenzanthrone and its isomer 2-nitrobenzanthrone, in vitro and in vivo. Mutagenesis, 22, 135-145 (2007)
- Ohyama M, Adachi S, Morinaga K, et al: A comparison of the production of reactive oxygen species by suspended particulate matter and diesel exhaust particles with macrophages. Inhal Tox 19 Suppl 1:157-160 (2007)
- 安達修一、他: 中皮腫発症リスクに対する抗酸化食品の効果 日本リスク研究会論文集 Vol. 20, Nov.17-18 (2007)
- 松澤邦明、田村猛夏、他: 原発性マクロアミラーゼ血症に合併した Mycobacterium abscessus による非結核性抗酸菌症の1症例. 日本呼吸器学会雑誌 44: 519-522 (2006)
- 田村猛夏: わが国における職業性肺疾患. 呼吸器科 9: 543-547 (2006)
- 田村猛夏: 溶接工肺. 成人病と生活習慣病 36: 759-762 (2006)
- 田村猛夏: アスベスト胸膜炎の臨床: その診療と予後について. 最新医学 62: 76-80 (2007)
2. 学会発表
- 森永謙二: 健診センターにおける石綿(アスベスト)関連疾患のマネージメント. 日本総合健